

女性研究者支援センターは、さまざまな事業を学内外と連携しながら進めることで、女性が活躍できる研究環境の整備や、キャリアパスの構築を目指しています。

平成28年4月より、女性研究者支援事業プログラム・オフィサーに、真嶋由貴恵教授、女性研究者支援センター長に、森澤和子教授が就任しました。



大阪府立大学 女性研究者支援事業 プログラム・オフィサー
21世紀科学研究機構 ダイバーシティ研究環境研究所長
現代システム科学域・人間社会システム科学研究科／工学研究科 教授
真嶋 由貴恵(博士(工学))

平成28年度から、女性研究者支援事業のプログラム・オフィサーと、ダイバーシティ研究環境研究所長を務めることになりました。

平成22年度から開始した本学の女性研究者支援事業では、女性研究者支援センターを中心に研究者のワーク・ライフ・バランスを支援する取り組みを充実させてきました。

今回さらに、平成27年度文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されたことを契機として、新たにダイバーシティ研究環境研究所を設立しました。この研究所を中心に、異分野融合・共同研究における女性リーダーへの支援、女性上位職のワーク・ライフ・バランスへの支援など、女性研究者がリーダーシップを発揮してキャリアアップするための事業を推進しています。

これらの事業には、学内外の多くの方々のご理解とお力添えをいただいております。皆様のご協力には大変感謝しております。

この事業を通して、本学が女性研究者だけでなく、全構成員にとって最適な研究・教育環境を提供できるよう、また、女性研究者の増加や活躍によってより活性化され、性別にかかわらず多様な人材が個人の能力と個性を発揮し、地域に還元することのできる公立大学となるよう、これからも努力していきたく思っております。

今後とも、皆様のますますのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



大阪府立大学 女性研究者支援センター長
工学域・工学研究科 教授
森澤 和子(博士(工学))



平成28年度から、3代目の女性研究者支援センター長を務めさせていただくことになりました。

このセンター事業は、平成22年度から24年度まで、理系の女性研究者支援を行うことを目的とした文部科学省科学技術振興調整費による「女性研究者支援システム改革」の「女性研究者支援モデル育成」事業に採択された取り組み「元気！活き生き女性研究者・公立大学モデル」に端を発したものです。

今年度でセンター発足7年目となりました。初代センター長の田間泰子先生と2代目センター長の真嶋由貴恵先生のリーダーシップのもと、この7年間で事業内容も広がり、支援の範囲も理系だけではなく全分野の女性研究者、さらには男性研究者にもおよんでいます。

微力ではございますが、この流れを引き継ぎ、女性研究者はもとより、本学の全構成員が性別にかかわらず活き生きと能力と個性を発揮して活躍するための一助となる支援事業を今後も進めるべく取り組んでまいりたいと思っております。どうぞお声をお寄せ下さい。

本センターの様々な取り組みにつきましては、学内のみならず、地域の皆様や企業、大阪府内の施策との連携など、平素より多くの方々のご協力に支えられています。

ここに深く感謝申し上げますとともに、今後とも皆様のますますのご理解とお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。